

2021. 6. 1 No.177号

社会福祉法人下松市社会福祉協議会
〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号
下松福祉センター内
TEL 41-2242 FAX 41-2330
<https://www.kudamatu-syakyo.or.jp>



友だちのいいとこたくさん みつけよう

(令和3年度児童福祉月間標語)



もくじ (主な内容)

令和3年度事業計画と予算	2, 3P
赤十字報告	4P
善意の花束	5P
募金百貨店プロジェクト	6P
掲示板	7, 8P

下松市児童センターでは子育て親子の交流の場として、子育て支援事業を実施しています。

新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、ふれあいとつながりの場を作っています。

また、子育てに関する相談や地域の子育て情報のご案内も行っていますので、はじめての方も気軽に遊びに来てください。



令和3年度

下松市社会福祉協議会 事業計画と予算

事業方針

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、かつて経験したことのない広範な社会・経済活動の減少は、個人や事業者の収入の減少、雇い止めや失業などを招き、多くの方々が困窮状態に陥っています。

また、経済活動や社会生活の変化により関係性の希薄化が生じ、社会的孤立や経済的困窮等、地域における生活課題を深刻化させるとともに新たな福祉ニーズを発生させているところです。

こうした時を背景に、地域住民の多様化した支援ニーズに対応するため、地域生活課題を把握し、解決していくことができる包括的な支援体制づくりが求められており、専門職による多職種連携や他機関協働、地域住民やボランティア等との協働による地域づくりが必要とされています。

下松市社会福祉協議会は、「地域

福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、住民主体の理念に基づき、地域福祉の今日的課題をとらえ地域生活課題に向き合い、幅広い関係機関・団体・施設等との連携による地域における見守りや支え合い体制を推進し、「ともに生きる豊かな地域社会」の実現をめざします。

社協事業への積極的なご参加と温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



重点事業

- 地域・関係機関等との連携による地域見守り体制の促進
- 地域共生社会に向けた地域づくり・人づくりへの取り組み
- 関係機関と連携した福祉・くらしに関する相談支援体制の整備
- その人らしい生き方・生活を尊重した在宅福祉サービスの実施
- 組織体制、財政基盤強化への取り組み

主な事業

1 社協経営の基盤強化

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 経営の透明性及び情報の公開
- ③ 福祉関係機関・団体・施設等との連携強化
- ④ 地域における公益的活動の推進

2 地域福祉活動の推進

- ① 第3次下松市地域福祉活動計画の策定
- ② 地区社協の育成・活動支援
- ③ 福祉員活動の推進
- ④ ふれあい・いきいきサロンの推進
- ⑤ ふれあい食事サービスの実施
- ⑥ 敬老行事の実施と援助
- ⑦ 地域活動組織支援事業の実施
- ⑧ 生活支援体制整備事業の実施
- ⑨ 施設等との協働事業の企画・検討

3 ボランティア活動・福祉教育の推進

- ① ボランティアの育成及び活動支援
- ② ジュニアボランティアの養成
- ③ 災害支援ボランティアの養成及び啓発
- ④ 小・中学校等における福祉教育の支援協力

4 在宅福祉サービスの促進

- ① 給食サービス事業の実施
- ② 寝具乾燥サービス事業の実施
- ③ 介護支援ボランティアポイント制度事業の推進
- ④ 助け合いサービス事業の実施
- ⑤ 知的障がい児者の余暇活動の促進

5 居宅介護事業の充実

- ① 訪問介護事業の実施
- ② 障害福祉サービス事業の実施

6 総合相談支援事業の実施

- ① 総合相談事業の実施
- ② 地域福祉権利擁護事業の推進
- ③ 法人成人後見支援事業の実施
- ④ 生活困窮者自立支援事業の実施
- ⑤ 苦情解決体制の整備及び強化

7 広報・啓発活動の充実

- ① 社協だよりの発行（年4回）
- ② 愛のバザーの開催（第43回）
- ③ 下松市社会福祉振興大会の開催

8 福祉資金等の貸付

- ① 各種福祉資金の貸付（窓口）業務
- ② 援護資金等の貸付・償還業務

9 援護活動の推進

- ① 社会福祉施設の支援
- ② 福祉団体の育成・援助
- ③ 母子家庭児童・ひとり親世帯等への援助
- ④ 災害家庭への緊急援護

10 共同募金等への協力

- ① 共同募金運動の展開

11 子育て支援センター事業の実施

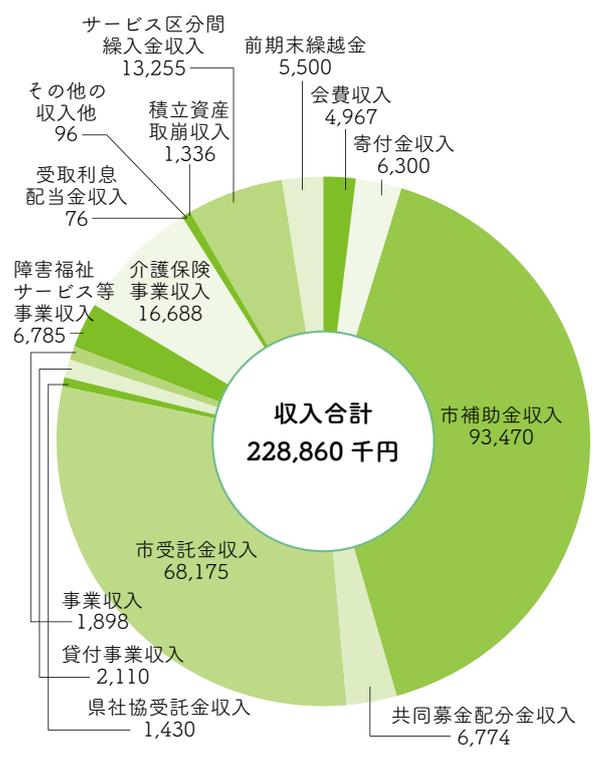
- ① 子育てに関する相談
- ② 未就園児及び保護者相互の交流
- ③ 子育て支援事業「出張ひろば」の開催
- ④ 赤十字事業の推進
- ⑤ 献血運動の推進
- ⑥ 「小さな親切」運動の展開

12 福祉施設の経営等

- ① 老人福祉会館「玉鶴」の運営
- ② 福祉センターの運営

拠点区分・サービス区分事業名	予算額（千円）
地域福祉推進事業拠点	204,689
法人運営事業	97,997
広報啓発事業	3,148
ボランティア等推進事業	1,042
福祉の輪づくり事業	1,073
地区社協育成事業	2,670
高齢者福祉支援事業	1,531
健康体力づくり事業	804
地域福祉権利擁護事業	4,148
成年後見支援事業	240
総合相談事業	469
地域活動組織支援事業	360
生活困窮者自立支援事業	4,245
介護支援ボランティアポイント制度事業	503
生活支援体制整備事業	6,995
認知症高齢者見守り事業	20
ふれあいいきいきサロン等活動支援金事業	1,000
敬老事業	9,480
寝具乾燥サービス事業	256
給食サービス事業	12,967
高齢者訪問介護サービス事業	100
福祉号運行事業	1,547
助け合いサービス事業	1,100
活動助成・援護事業	2,430
共同募金配分金事業	6,774
子育て支援センター事業	9,752
老人福祉会館運営事業	14,792
福祉センター運営事業	4,614
資金貸付事業	6,944
善意銀行運営事業	6,300
事業資金積立金運営事業	1,356
基金運営事業	32
介護保険・障害福祉サービス事業拠点	24,171
訪問介護事業	16,691
居宅介護事業	4,895
地域生活支援事業	2,585
支出合計	228,860

予算総額 228,860,000円



(単位：千円)

青少年赤十字(JRC)の活動報告

11月15日、JRC活動の一つである国際交流事業に、山口県立華陵高等学校の生徒3名が山口県の代表として参加しました。

今回は、国内の加盟高校41校とアジア・太平洋州の18カ国、総勢500名をオンラインで繋ぎ、感染症をテーマに各国での影響や差別・偏見について英語で話し合いました。

参加した生徒からは、意見交換を通じて、誤った情報を鵜呑みにせず、正しい知識を持つことが大切であるといった声が聞かれました。

また、12月3日、下松市立中村小学校で5年生48名を対象に「平和学習」が行われました。

日赤県支部指導講師から、赤十字は、戦争をきっかけに誕生した人道支援組織であり、赤十字をつくったアンリ・デュナンが、人のいのちの大切さ、目の前の困っている人を助けたいの思から赤十字を創ったことを児童に伝えていました。

また、シリア難民への支援活動の話を通して、「平和」がなければ、「人道の実現はできない」ことを学んでいました。



青少年赤十字(JRC)について

赤十字では、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びとの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。

日本国内では1922年から青少年赤十字がはじまり、来年で100周年を迎えます。

赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社は、国内外で発生した災害などに、いち早く医療救護を行うための救護班の派遣や救援物資を被災地に届けています。

また、防災・減災につながる各種講習会を通し、人々の健康的な生活や未来につながる支援も行っています。

これら全ての活動は無償で行い、その財源は、独立性を保つため国や県・市町からの補助金は受けず、皆様からの寄付金に支えられています。

災害時の救護活動を迅速かつ確実に継続するために、今年度も赤十字の活動資金にご協力をお願いいたします。



【令和3年度下松市地区活動資金目標額】 (単位：円)

一般	法人	合計
7,280,000	742,000	8,022,000

【令和2年度下松市地区活動資金実績額】 (単位：円)

一般		法人		合計		
目標額	実績額	目標額	実績額	目標額	実績額	達成率
8,240,000	7,288,706	775,000	696,000	9,015,000	7,984,706	88.6%

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

市民の皆様からお寄せいただきました活動資金の一部は、下松市内での火災・災害時の救援物資の配布や地域福祉活動などに大切に活用させていただいております。温かいご支援、ご協力をありがとうございました。

善意の花束

社会福祉事業のためにと、市民の皆様から、善意銀行に届明けその他の厚志を含めてたくさん善意が寄せられました。ここに厚くお礼申し上げます。

なお、氏名・金額はご了承くださいました方のみ掲載しています。(順不同)
令和3年1月1日〜令和3年4月30日 受付分

香典・玉串料返し

昭和町 飯田利道様 一〇、〇〇〇円 山口県東部ヤクルト販売株式会社様

(御母堂) 好江様

三七、五〇〇円

生野屋 田村紀行様 五〇、〇〇〇円

累計

一一、〇二〇、六八二円

(御母堂) マツエ様

河内 中村哲男様 一五、〇〇〇円

河内 清水宣彰様 一〇〇、〇〇〇円

株式会社山口銀行下松支店様

(御内室) 永子様

三〇、〇〇〇円

栄町 藤井星矢様 三〇、〇〇〇円

累計

六五一、九〇〇円

(御尊父) 勢治様

米川 藤井星矢様 七〇、〇〇〇円

(御尊父) 勢治様

昭和町 村田康生様 二〇〇、〇〇〇円

(御尊父) 清様

(御母堂) 恵美子様

一般寄付

周南市 木村 茂様 一〇、〇〇〇円

累計 九〇、〇〇〇円

来巻 匿名様 一〇、〇〇〇円

せせらぎ町

中村好治様 五〇、〇〇〇円

たんぼの会様 五、〇〇〇円

累計 一八五、〇〇〇円

物品寄付

マルハン下松店様

お菓子

匿名様

車椅子四台

未使用葉書

一件

タオル

二件

リングプル

二七件

使用済切手

二四件



株式会社山口銀行下松支店様

親切会中国支部の支援活動

株式会社日立製作所と関連会社の従業員で構成する奉仕団体、「親切会中国支部」から、「下松手話あじさいの会」に活動の一助として寄付金が贈られました。

今年度については、新型コロナウイルスの影響で、贈呈式が中止となったため、リモートにて広島県の親切会中国支部と下松市の手話あじさいの会を繋げ、会の紹介等を行いました。

【小さな親切】善行者を推薦しよう

推薦のお願い

善行者を見かけたときは、いつ・どこで・だれが(個人または団体)・何をされたかを、推薦カード又はハガキに記入して、下松支部までお知らせください。実行章を伝達し、その善行を皆様とともに称えます。

推薦先

〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号
下松市社会福祉協議会内 「小さな親切」運動下松支部

訪問介護員 募集!!

詳細については、お気軽にお問い合わせください。

職種

訪問介護員(パートタイマー)

業務内容

高齢者、障がい者などのお宅を訪問して、家事や介護のサービスを提供します。

- ・身体介護(食事介助・清拭・入浴介助等)
- ・生活援助(掃除・洗濯・調理・買い物等)

採用人数 若干名

採用資格

次の条件を満たしている方

- ① 介護職員初任者研修課程修了(旧ホームヘルパー養成研修2級)又は介護福祉士
- ② 普通自動車免許



空いた時間を有効活用しませんか。私たちと一緒に働きましょう!!

問い合わせ先
下松市社会福祉協議会まで
☎ 41-2242

募金百貨店プロジェクトとは・・・

“寄付つき商品・企画”を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付することにより、地域社会に貢献する企業・団体等を募集するプロジェクトです。

購入者の負担はなく、企業のイメージアップや販売促進、社会貢献につながる、Win-Winの関係構築を図るものです。



下松市内の加盟店紹介

国民宿舎大城

(下松市大字笠戸島 14-1)

- ①磯もなか 1個販売につき1円
- ②地元、下松市農業公園で栽培された「来巻(くるまき)にんにく」を使用して作られた焼き肉のたれ【甘口・中辛・濃口】1個販売につき1円



下松商業開発株式会社

(下松市中央町 21-3)

下松商業開発(株)が指定したゆめタウン下松星プラザで実施するイベントにおいて寄付つき商品販売や寄付つき企画を実施し、売り上げの一部を寄付



株式会社やとう

(厳選野菜 鮮菜栄屋 下松市中央町 21-3 ゆめタウン下松 1F)

鮮菜栄屋が販売する“店長が選んだやまぐちの掘り出し物”をご購入いただくと、1個販売につき売り上げから5円を寄付



株式会社ナカイシ

(コスメティックハウスラ・ノーブル 下松市中央町 21-3 ゆめタウン下松 2F)

BENEFIQUE(ベネフィーク) ハイドロ UV ジーニアス 1品販売につき10円を寄付。



募金百貨店プロジェクトに参加していただける企業・団体等を募集しています。

寄付つき商品・企画で 地域に貢献しませんか？

下松市共同募金委員会までお気軽にご相談ください



お問合せ・お申込み

〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号

下松市共同募金委員会(下松市社会福祉協議会内)

TEL 0833-41-2242 FAX 0833-41-2330



掲 示 板

学んで・遊んで・

一緒にごはん 

「WAI-WAI オアシス はたおか」は毎月第3土曜日に旗岡第一集会所で、こどもからお年寄りまで3世代交流ができる憩いの場を提供しています。

第1回目の2月20日、勉強をしたり教えたりする人、おしゃべりを楽しむ人、ご飯を食べる人、皆でゲームを楽しむグループなど、皆さん思い思いの時間を過ごしていました。

また、スタッフが準備したカレーも「おいしかった」「お代わりする」などの声が聞かれ大好評でした。



社協会費にご協力をお願いします

社会福祉協議会は、社会福祉法に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と位置づけられ、市民の皆様を会員として構成された民間の社会福祉団体です。

市民の皆様が会員になり、自分たちの問題として地域の福祉課題への関心を高め、福祉活動へ参画し、地域福祉を進める主体となっていたことで、地域の支え合いが実現できます。

会員の皆様からお寄せいただいた会費は、地域福祉活動を支える貴重な財源として、地区社協や福祉員の活動支援等に活用されています。

社会福祉協議会の活動にご理解をいただき、会費のご協力をお願いいたします。



みんなで見守り

3月4日、花岡地区社協で会食サービスの利用者を対象にマスクの配布を行いました。

この取り組みは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、みんなで集まったの会食を控えている中、地域住民の孤立を防ぐことや地域のつながりが途切れないようにするために実施しました。

当日は、民生委員が一軒一軒、対象者宅を訪問し、マスクを手渡ししながら、お互いの近況や地域の情報等を伝えあっていました。



～進めよう、地域づくり～

3月14日、ほしらんどくだまつで「令和2年度協議体委員研修会」を開催しました。

山口大学大学院講師の長谷亮佑先生から「協議体の役割とコロナ禍での活動事例」についての講演後、米川・豊井・花岡地区で現在取り組んでいる協議体活動の報告がありました。

各地区の協議体委員を中心に参加された60名の方からは「互助を高めることの必要性が分かった」「3地区とも地域特性を良く生かしており、参考になった」といった声が聞かれ、これからの協議体活動の活性化につながる研修会となりました。



